

だったのに... 2nd

千里眼のイン
+ ビームガ生



1本500

■おもな登場人物

(健人)たむらけんと	http://mdenpa.hauN.org/
(ごり)GORRY	http://GORRY.hauN.org/
(しゃ)しゃある	http://sharl.hauN.org/
(いら)いらたま	http://www.imasy.or.jp/~kenichi/
(ふる)ふるふる	http://www.hauN.org/~konishi/
(ロボ)沖@沖	http://chiharu.hauN.org/
その他大勢	

■見出し一覧

■お約束

■パソコン黎明期

■マスメディアへの進出・けんとの場合

■マスメディア・ごりーの場合

■Freesoft の世界

■千里眼

■速度王と呼ばれて

■Web 日記といふもの

■雲の上と実際と

■あんな店とか壊れ系な話

インタビュー時のノリをできるだけ再現するために、ほぼ時系列順に並べているので話があちこちに飛んだりしますが、ご了承ください。

この行のように、“#”が先頭に付いている脚注は CM58 用に追補したものです。

■お約束

しゃ：けんと攻めごりー受け、ということで今回のインタビュー始めたいと思います。

(マイクの位置修正)

しゃ：ということで、えー、今回はけんと攻めということで、けんとを重点的に攻めて、ごりーがボケつつツッコむ、という。

健人：それって攻めっていわないんじゃ。

(爆笑)

すら：それ受けなんじゃないの？

しゃ：あ、そうか、じゃあ逆にしたほうがいいかな。ごりーメインにして、けんとが突っ込む。できる？

(爆笑)

健人：よくわかんないけど。

にら：まあとりあえず両方…。

しゃ：均等につっこんでって。

健人：リバーシブル¹ってやつですか。

(爆笑)

しゃ：そんな専門用語を…。

ふる：なにそれ、もしかして8はひっくり返しても8っていう…。

(爆笑)

しゃ：これねえ、オレ絶対入れるから。

(爆笑)

¹ # 何だっけ・・・もう1年経ったから覚えてないや。

■パソコン黎明期

しゃ：とりあえず、二人のコンピュータとの最初の関わり合い。どっから入ったか。

健人：どっから入れたか…。

ごり、しゃ：入れたのか(笑)。

健人：えー MSX からです。

しゃ：一番はじめて MSX なの？ あの Z80 積んでた…。

健人：そうそう、MSX1。

しゃ：1 のころ。

健人：中学 1 年のころに MSX を買ってもらって、それからですね。

しゃ：ふーん、なんか意外な感じ。

ごり：中 1 って何年だ？ 年にして

ふる：1984~5 年くらい？

健人：1984~5 くらい。

しゃ：ふーん。

健人：確か MSX2 が出る直前だと思うんだ。

ごり：年齢が違うから、西暦を入れないとわかんない(笑)

しゃ：ごりーはどの辺なの？

ごり：オレねー、小学校 5 年のときだったかな。5 年のねー、5 月か 6 月。だからおれが 5 年のときだから、あれは、そういう意味では 10 歳か 11 歳かぐらいだから、えーと 1981 年ぐらいか。あんときにね、友達か…

しゃ：88？

ごり：いや、違うんだよ、日立のね…

しゃ：S1？

ごり：違う、あのね、16 LED の

しゃ：うお、ワンボードですか？

ごり：いや、ワンボードじゃないんだこれが、なんかこれぐらいのねー、16 個点があって、で、さらに下に 8 桁ぐらいの 7 セグのアレがあって、でさらにちょっとしたキーボードがあって、であとビープが出るっていうねー、日立のなんか学習用の…。

しゃ：MB、MB だ、違うかな

ごり：わかんない。

にら：H なんとかってのが。

と：H1？

にら：H1 じゃない

ごり：パソコンとして、コンピュータとして売ってる訳じゃない。学習用キットでプログラム組んだのが最初。なんかね、50 ステップか 60 ステップしか組めないんだよ。で、LED つける命令と…

しゃ：最初は 7 セグだったんだ、そしたら一番初めが

ごり：しかも 7 セグはプログラムコントロールできない。あれただの電卓としてしかつかえなかった。

しゃ：変。やっぱ変だね、入り方も。

ごり：うん。プログラムしたってのはあれが最初。

健人：オレって普通だなー。

(爆笑)

しゃ：でき、けんとは、始めに MSX 買ってもらってナニをしたの？

健人：あのころはだからプログラム組んでみたり…。

しゃ：BASIC だよな。

健人：そうそう、音楽打ち込んでみたり、そんな感じ。あとゲームだよな。

ふる：マッピーとかね。

しゃ：もう、本当にコンピュータ入りたてのユーザが普通にやることを普通にやってきたっていう感じだよな

健人：普通の人だもん。

しゃ：ごりーは？

ごり：で、おれまださっきの話続きあるんだけど、それは友達から借りてただけで、そのあと、ららぼーと²がちょうどそのころオープンしたんだよ。で、いったら、そこに PC-8001 があったんだよ。当時コンピュータのコト知らないから、ひたすらキーボード叩いて、文字が出るっつって、なんかヘンなでっかいキー³を押すとピーって変なメッセージが出るっつって、要は syntax error だな。あれをひたすら遊んでて、それが第2。で、第3がああマイコン入門、NHKのマイコン入門第1期⁴。

しゃ：はいはいはいはいはいはい。

ごり：あれで、あの時ららぼーとにあったのがPC-8001 だって、実は機種 X がPC-8001 だってわかって、で、その直後くらいにオヤジが会社に事務所に PC-8001 を入れたんだよ。で、「オマエなんかコンピュータの番組見始めたんだろ、教えてくれ」とか言って、一式持って、抱えて持ってやってきた(笑)。

しゃ：なんかさ、初回から対照的な二人なんですけど。

(爆笑)

ごり：で、そんなときすでに、そのPC-8001 と、PC-8031-2W⁵。

しゃ：うわあ、コアだー、1/0⁶の後ろのほうに広告載ってたやつ？

ごり：あの、あれ、2ドライブのフロッピー。

ばや：めちゃめちゃ濃いぞそれ。

にら：S が見つからないところがポイント。

ロボ：そそそ、でかいんだよね。

すら：じゃ、けんとさんは絵にかいたような入門編で、ごりーさんはほんとに最初からイレギュラーだったと。

しゃ：最初からコアだから。

にら：昔から変だよ。

しゃ：そのあとの遍歴も聞きたいんだけど。MSX のあとは。

健人：確かね、高校入った時に…

しゃ：いきなり飛びますね。

健人：88⁷のあれは MA か。

しゃ：88MA…MA ってなんだっけ。

軟派：MR の次だよな。⁸

健人：サウンドボード2で、ディスクが1MB なやつ。

しゃ：CD-ROM が上についてるやつ？

健人：それは MC

にら：MA はサウンドボード2がついてて…

ふる：FH とかと同じ世代？

にら：そう。⁹

健人：8MHz 切り替えができて、サウンドボード2で、2HD のフロッピーのやつ。

しゃ：いきなり2HD か、幸せだな。

健人：R があって、H があって A があって

ごり：で C。

健人：2 もなかったっけ？

ごり：ない。

² # 千葉県船橋市にあるショッピングセンター。

³ # リターンキー。

⁴ # 1982年4~9月放映。

⁵ # 2D フロッピーディスクドライブ。2ドライブで¥288,000。

⁶ # 当時「ASCII」「月刊マイコン」と人気を三分した雑誌。最近休刊になったらしい。

⁷ PC-8801。ここではPC-8801SR以降を88と呼んでいる。

⁸ 違います。88MR(1MB FDD)→88MH(+8MHzクロック)→88MA(+サウンドボード2)

⁹ 正確には違うやね(汗)

ふる: 2 とか 21 とかあるのは PC-98 だって。

しゃ: MA の次は?

健人: そしたら、大学入って…

しゃ: いきなり XVI¹⁰?

健人: XVI。

しゃ: いきなりそこで XVI いっちゃうわけ? 飛びますねえむちゃむちゃ。

健人: 普通でしょ? だってすごく普通でしょ?

ごり: まあ、別におかしくはないと思うけど。

しゃ: まっとうな道を歩んでるよね。

健人: だって、地味な人生だもん。

しゃ: 途中までは。途中まではまっとうな道だよ(笑)。

健人: いや今でも、今でもまっとうだよ。

(ええーっ?)

にら: でもさー、やっぱり機種聞いとるとさー、年代の差を感じるよね。

しゃ: うん、違うもんねやっぱり、世代の差つーのが出てくるよね。

ふる: ちょっと待て、ときんが世代の差を感じてどーするねん(笑)。

しゃ: で、ごりーがおやじさんの 8001 で入って、そのあと…

ごり: そのあと初めて買ってもらったマシンが MZ-721¹¹。

しゃ: 721 っていったら、プロッタプリンタがついて…

ごり: ないないない

しゃ: ついてないヤツ?

ごり: カセットだけ。で、そんつぎが X1C¹²。

しゃ: おお、なんかいっぱいやってますねえ。X1C ねえ…。

ごり: うん、で、その後が高校入ってバイトして X1 turbo II。

しゃ: 高校入って turbo II なの?

ごり: turbo II もこれ…じゃない X1C のころからか、ひたすら店頭展示品ばっかり買ってんの。

X1C も turbo II も、こんど大学に入って、ACE か、ACE-HD¹³、これもまた店頭展示品。

しゃ: おー、遍歴は多いねえ。

ごり: うん、で、そのあと X68030 買ったんだけど、これが 22 か 3 のときだったと思うけど、これまた店頭展示品。

しゃ: はー、要するに、中古品がよかったと。安く買えたい。

ごり: 安いもん、とにかく安いからね。

ロボ: おれのベケロクも店頭展示品だったのよ、実は。

しゃ: けんとはだから XVI でぱりぱりやってた頃でもう、もうそれでその後は終わったんだよね? いきなり、そのあと買ってはいないんだよね

健人: もう、そのあとは AT いっちゃったから、大学院行って AT 買って…

しゃ: だから、大学時代がいっぱいなんかむちゃむちゃやってた頃って感じだよ。

健人: むちゃむちゃって…人間きが悪いなあ。

ふる: なにそれ、すいません、その、むちゃむちゃってなんですか? すいません、様¹⁴だったりとか?

(爆笑)

しゃ: だって、この人は大学のころが一番すごかったんです。

ふる: あーいろいろ。

にら: ま、そのへんはのちのち、尋問するというコトで。

しゃ: のちのちいきますけど、うん、とりあえず、コンピュータの出会いとしては、ごりーが、

¹⁰ X68000XVI。CPU クロックが 16MHz 化されたモデル。

¹¹ シャープ MZ-80K 系列のカラー化マシン。現在はエミュレータあり。

¹² X1 シリーズ 2 世代め。カセット版が C、3 インチ (3.5 ではない) FDD 版が D。

¹³ X68000ACE-HD。最初の HDD 内蔵モデル。

¹⁴ 本人のためにコメントは控えさせていただきます。

浮気性、と。

(爆笑)

ごり: おい。シャープ一筋といってくれ。

しゃ: ああ、自分で持ったのはシャープだねえ。

にら: 自称シャープ一筋。

しゃ: 確かに。けんとの場合はだから、一番初めがMSX っるのがなかなか、意外で。

健人: もう、着実に地味な人生をいきてんだなーってのがわかるでしょ。

しゃ: うん、むちゃむちゃ地味だよな。最初だけは。

にら: 一見地味なように見える、と。

健人: いまでも地味なんだけどな。

ふる: いやいや、MSX も派手だよ。ある意味。っていうかさ、見た目があの時期からやっぱり、

ほら、色がさ…とところでMSX はなんだったんですか?

健人: 東芝…

ごり: Hi tBit…じゃねー、あれはソニーだ。

にら: パソピア? ちがうって?

健人: パソピア…??

しゃ: パソピアX?

健人: だと思ふなあ。¹⁵

すら: ここで、入門がMSX ってひとは何人くらいいるの?

ふる: 入り口でMSX って人は結構いるよ。

ごり: MSX は持ってはいたけども。

にら: MSX は借りてっていうか、遊びにいったさんざん使いたおしてたな。

しゃ: MSX っっていう時代が違うもんなー、オレな〜。

にら: 結局なんだかんだでMSX の影響は受けてるな。

しゃ: はー、なかなかこう興味深い、いままで知らなかった。ごりーはだいたい予想ができたんだけど。

(爆笑)

ごり: おれWeb に書いてるもんそーゆーネタ。

しゃ: この人(けんと)、むちゃむちゃ意外。

健人: おかしいなあ。

にら: たぶんあれじゃないの、だからオレとかごりーの世代の次ってたぶんMSX 世代なんじゃないの?

しゃ: うん、ちょうどそうだよな、中学高校入れ代わりのころだもんね。

にら: ある意味第2次パソコンブームっていうか…

ごり: うちらが第2次らしいけど。

にら: 正確にはね。それはマイコンのほうがあからね。

しゃ: マイコン…あの分厚い電波のマイコンとあと1/0 と、あとなんだっけ? RAM? RAM じゃなくて? RAM とかってなかったっけ?

ごり: RAM はまた別

しゃ: あのころじゃないの?ほんとに、初期のころって

ごり: あとアスキーだよ、三大誌は。結局アスキーしか残らなかった…。

にら: アスキーだってでも結局見ると毛色やっぱちがうよ。気分は残ってるけど多少。

ロボ: 残ってるだけめっけものでしょ。

ごり: 変わるのに成功したから残ってるんでしょ。

健人: 本はね、わりとテクノポリス¹⁶とかポプコム¹⁷とか…。

¹⁵ たぶんパソピアIQでそ。当時横山やすし、木村一八親子が宣伝してたねえ。ちなみにXがつくのはFM-X。FM-7と接続してかなりの性能を引き出せたんだけど、いかんせん価格と互換性がねえ←余談すぎ

¹⁶ 徳間書店。

¹⁷ 小学館。

しゃ：ああ、もうそのころから！そのころから、萌芽はあったわけ？

健人：テクノポリスはそのころはそんな雑誌じゃなかったから。昔はね。ゲームの改造とかその方向はあったけど。

にら：まあ MSX 世代だとその辺かーやっぱり。

すら：あーそしたら一生懸命ゲーム打ち込んだ派？

しゃ：そりゃみんなやったんじゃない？打ち込んだのは？

ごり：福袋は？

健人：福袋は…

(爆笑)

しゃ：跳ぶなよいきなり、それ時代が違うやん。

ごり：テクポリとかコンプティークっていったらあの辺でしょ。

にら：テクポリは福袋はなかったぞ。

ごり：テクポリはなかったんだっけ？

にら：テクポリは確かにギャルゲー雑誌としての確固たる地位を確立してはいたけど。

Kain：でも初期のころはすごいまとも¹⁸な雑誌だったけど。

しゃ：や、だから、けんとうがいたいのは、あのころはオレはまともだったんだよっていいの！

ふる：あのころは。テクポリの豹変と同様におれも変わってしまったと。

しゃ：正解。グーです。

健人：えーいやいやいや。

にら：で、なにがたむらけんとうをこう変えてしまったかというその辺について…。

しゃ：それはねー、あの一番後ろのほうに聞くんて。

(爆笑)

にら：なるほど、美味しいとこだ

しゃ：やっぱり美味しいとことつとかなないと。

■ マスメディアへの進出・けんとうの場合

しゃ：で、あの、とりあえず変遷聞いたんで、沖ちゃんのときと同じように、あの、二人ともだんだんマスコミに出るようになったじゃない？マスコミっていうか、雑誌だけだね。その前後の話を聞きたいの。で、けんとうの場合はあの、在学中、大学在学中からこういうんな雑誌に、まあいろんな雑誌ってもあれ¹⁹しかないんだけど(笑)、あれにいろいろ書いてたけど、あれってのはどういうところから入ったの、つながりとしては、石丸さんとか？

健人：あれは、大学2年のころだよな。確か。あれはねー、結局あの SXZC があったから、あれをどうにか、どっかから広めたいと。それで、本を…その当時ちょっと、精神的に落ち込んでるコトがあって、(一同笑)で、なにか新しいこと始めようと思ったのね。で、じゃ、まあ雑誌のライターでもやってみようかと。それで ussy さんに通してもらって。

しゃ：あ、牛なんだ、最初は。

健人：それで始めたよ。

しゃ：やっぱそれも Network-SX²⁰ 関係なんだよね

健人：いや、当時はねー、入ってなかったかも Network-SX の方はまだ。

しゃ：NIFTY?

健人：いや、ussy さんはインターネットのほうでもまだ…。

しゃ：あーやってたから。

健人：そっちからだね。

健人：まあ、同時にパソコン通信もそのころ始めて。

ふる：大学2年でインターネットにつながってるってすごいよね(しみじみ)。

¹⁸ 現在は HSP で有名な「おにたま」氏による PC-88 プログラミングの連載記事などがあつた。

¹⁹ Oh!X

²⁰ X680x0 上で動く window system 「SX-WINDOW」の話題を扱っていた草の根 BBS。

しゃ：大学2年のころに、パソコン通信も始めてそういう仲間が広がって、その関係から、Oh!Xにいった、っていう。おれが始めにけんとの存在を意識したのが、まだ SXZC になる前の Zconductor のころ、だったんで、ちょうどあのころがほんとにやりはじめっていう感じなの？
健人：そうだろうねえ

しゃ：じゃ、こう、XVI になっていきなり SX があって、SX のプログラミングを始めた…。

健人：そう、XVI を買ったときに、興味を持ったのが SX だったの。だからその当時からアセンブラでぐじゃぐじゃ書いてて、SX のプログラム。で、半年とかそのあたりぐらいたってから ussy さんに連絡して Oh!X にいきはじめたの。

すら：やっぱえらい人をふりかえれば X68k になっちゃうのかなあ

しゃ：うちの集まりだからだけど、そういうのがあったのね。

ロボ：偏ってるからなー。

健人：いやーそのころは、沖さんといえば、なんかすごい立派な人だと思ってただけど。

しゃ：そう、そうだねえ。

(爆笑)

ロボ：戻すなー!!

しゃ：うちらは、全部そうなんだよ。

(一同うなづく)

しゃ：沖勝といえば! その前に fj の沖@沖があったから…。

健人：モデムを買ってさー、まあパソコン通信を始めようと思った、とりあえず NIFTY は入ろうと。それからどうやら Network-SX っていうのがあるらしい。沖さんにメールして電話番号教えてください、で、電話番号教えてくれたの。なんて親切な人なんだろうと思って感動してたんだけど。

しゃ：だけど？

健人：だけど。

(爆笑)

ロボ：結局オレかー

ふる：そのへんは第1巻を参照。

しゃ：けんとの始まりも沖勝が根底にいたと。

ロボ：ガビーン

健人：そうだね、沖さんいなければこんなになってなかったのにな。

(爆笑)

しゃ：ああ、なんか責任転嫁の発言が今ありました。

ふる：責任転嫁はよくないよなあ。

ロボ：おかしいなあ。

■ マスメディア・ごりーの場合

しゃ：とりあえず、最初の活躍、マスメディアに出るまでの活躍が、ま、けんとの場合はいったんで、次ごりー。どうして先生になったのか？

ごり：あれねー、ちょっとあれはおおもとから…、ちょっと、あの一番初めからいくね。おれあの一、まず Oh!MZ に載ってたのって、MZ-700 で3重和音を演奏するドライバってのがあったのよ。あれにいたく感動してね、で、さらにそのあとあれだ X1 のねーなんだっけな、あの一なんだかのゲームに使ったドライバだっていうあの3重和音ドライバ、あの全部ソフト LFO やるドライバが、ソフトボリュームコントロールか？あれやるドライバがあって、あれもいたく感動して全部解析して、で、そのあと…

しゃ：祝さん²¹の書いたドライバじゃなくて？

ごり：祝…じゃなかった、SPS の

しゃ：X1 の時代の、リバイバーとかあのへんだね。

ごり：もうちょっと前だと思う。

²¹ 故祝一平氏。

にら：あれSPSじゃないでしょ、リバイバーは。

しゃ：あれ？違ったっけ？

ロボ：アルシス。

しゃ：アルシスかあれ。

ごり：リバイバーはアルシス。でー、あれだちょうど、あの祝氏があのFM音源ボードの情報書いた、で、おれちょうどそのころFM音源カード買って、であれだ、VIP²²で遊んでたころだったから、「これでプログラムが書ける」つつって、あのドライバを書きだして、ちょうどそのころ、あの、あれか、あのマイコンショウ行って、なんとなくそのマイコンショウいこうって話があって、マイコンショウいったのね。電波²³のブースがあって、あの山下章とかがいたですよ。

しゃ：ああ、アイドル？

にら：ちんまいけどね

しゃ：アイドルはちんまくなきゃ。

ごり：山下章とN氏がいて、で、X1のドライバ書いてるっていったら「君ぜひ持ってきてくれ」(笑)

しゃ：ああ、もうそのころからもうNさんがいたのね。

ごり：うん。

にら：あれDOTA²⁴が発端なんだよね、確かね。

ごり：そう。

にら：だから結局、ごりーは自分ではいかなかったんだけど、ちょうどマイコン部の仲間うちで、それをいったヤツがいて、その場で。

ごり：オレがドライバ書いてるってのをポロっといったヤツがいて。

にら：結果的にセソセイ化したと。

ごり：いや、で、ドライバ持って行って、で、実際に聞いてもらって「じゃ、原稿書こうか」つつって。

しゃ：ドライバ関係だろうとは思ってました。

ごり：で、ドライバ書いて発表²⁵して、で、そのころもうN氏が、じゃあそろそろ…あの、曲のチェック²⁶は実はあのころね、月に150本くらいあったんですよ、ものすごいめんどくさいんですよ、あれ。ということで、知らないうちにオレに振られたと。

しゃ：じゃあ、分業化みたいな感じで、じゃあ、こっちにも振ろうかって感じて？

ごり：いや、ほんとは分業だったとは思うんだけど、約一月くらいで全部回ってることになってる(笑)。

しゃ：だから、できるやつに振るとけばとりあえず問題ないと。

ふる：だから要するに「こんなにいっぱいきてどうしよう、はっ、いいところきた。オマエだ、イエー」

(爆笑)

しゃ：だから、こいつがやったからー。

ふる：やったから、「ああ、いいやつだ、いいやつだ」

にら：だからN氏はもう仕事いいから、とりあえず誰か振りたかったんじゃ…。

しゃ：で、ごりーがまだ先生やってたころって、まだX1の時代？

ごり：始めたのはX1のころ

しゃ：長いよねえ、そう考えたらねー、ごりーセソセイって。

ごり：うん、活動開始が1987?

しゃ：87!?

²² 音符を並べる形式の作曲ソフト。

²³ 電波新聞社。

²⁴ 当時高校のマイコン部の部員

²⁵ マイコンBASICマガジン1987年9月号。

²⁶ ミュージックプログラムコーナーに投稿されるプログラムのチェックのこと。

ごり： そう

にら： 高校2年くらいだっけ？ 1年だっけ？

健人： オレ中学生？

(外野騒然)

しゃ： もうそのころから原稿書いてた人がここにいるの。

にら： だから、ごりーがVIPで遊んでるころってのはわしが科学部だったにもかかわらずマイコン部に入り浸って遊んでたときと一致するから

しゃ： 高校生…高校生であんなことしてたのかー

にら： 高校生ライター

ごり： だからあの一、1987年9月号がその初掲載なんだけど、ソースリストにはちゃんと「神奈川県立厚木西高校、後藤浩昭」って書いてあるよ、実は。

(お一)

にら： なぜか文科系のくせに朝練があつたりしたしなー。

ごり： 朝7時半にいてゲームやってんの。

しゃ： それ朝練じゃなーい!!

(爆笑)

にら： いや、朝練らしいこともしてたよ、あの一 PC-6601 に変なことしゃべらせたりとか。

しゃ： まだペーしっ君みたいにこうキーボード打ちながらウサギ跳びするとか…

ふる： ペーしっ君で懐かしいねえ

にら： はいここでペーしっ君知らない人ー

すら： はーい

(あ一)

すら： オレって一般人!!

しゃ： そうなのかなー？

ふる： 一般人だー

しゃ： あ一、歴史が長いな。それが、ついこないだ、ついに、終わってしまいました。

ごり： 終わってしまいましたねー

しゃ： どうしてこう、さよならサイン会とかしなかったの？

(爆笑)

ごり： それは終わる時期を逸したから…。

しゃ： じゃああの一、夏コミ終わったら、だからオレ今回のヤツに書くから。

ごり： うん。

しゃ： ごりーの都合のいい日をやって、こんどここでやりますっていう…。

ごり： (笑)ちょっとそれはいくらなんでも…。

しゃ： ごりーサイン会。

にら： **だったのに**本を持ってきてくれたらよろこんど。

にら： 聞きたいんだけど、あの一、N氏のひとかはさー、公式にサイン会とまではいわないけど、イベントのときにサインとかやってたやん、ごりーはなかったのそーゆーのって。

ごり： あのところを境にイベントがなくなったですよ。ああいう。

Kain： なんか自作のサイン持ってるよ。

にら： ああそれ、だつてわしマイコン部いた頃にもらってたよ。

ごり： ああ、持ってるよ、あちこち書いてるよそれは。

しゃ： あ、それぞれ、ぜひ収録したいんですけど。

ふる： スキャナーだスキャナーだスキャナーだ。

にら： でもうちにもう残ってないかも。

ごり： あ、おれ自分のマシンに入ってるけど。

しゃ： とりあえずごりーサイン収録ということで…

しゃ： で、なんか、むちゃむちゃさあ、けんとかと比べるとさー、ごりーが華々しすぎてさー、こう、千里眼の人がかすむんだけどさあ

(爆笑)

健人： 地味だから、地味だから

ふる：いや、いや、違う、だって、違う違う違う違う、それはまだ、あの話をしてないから。
しゃ：はい、わかりました。
健人：なに、あの話って？
しゃ：じゃあ、しましょうあの話は、あとで。
ロボ：そそそ、美味しいところはあとでしょ。
しゃ：やっぱりねー
健人：地味なのに…

■Freesoft の世界

しゃ：で、あの二人ともその当時は活躍し始めたころ…はもう X68k の世界に入ってたよねえ？
ごり：いや、おれは結構あとだよ。
しゃ：うん、だから、ごりーは X1 なんだけど。
にら：だって、ごりーは原稿料で買ったんだからね。
ごり：そう。
しゃ：しかも店頭品を。
にら：しかもそのあとごりーに引きずられてわしも買うと。
しゃ：けんとの場合は、最初の、デビューっていうのも変だよな、一番初めにネットに upload したのって？
健人：ネットにアップしたの？ やっぱ Zconductor でしょ。
しゃ：あ、やっぱりあれになるんだ。
健人：ネットといってもインターネットだけだね。
しゃ：ああ、そそそ、初めてあれを見て、いつのまにか SXZC になってたから、あれがほんとのデビューだったんだ。じゃ、オレってけんとのデビューをインターネット上で見てたんだね。
ふる：デビュー当時からファンだったんです(笑)
しゃ：それはちょっと違う(笑)
ロボ：千里眼？
しゃ：や、それはも一ちょっとあと。

しゃ：で、そのあとやっぱりパソコン通信いって、Network-SX を中心に活動、っていうかたちになったんだね。
健人：そーだねえ、Network-SX だねえ、沖さん？
ロボ：あー、懐かしいねえ。
しゃ：NG とか HG とか何回も変わったよね。
健人：うん、変わった変わった。
しゃ：でもずーっと付き合ってたよね。
健人：もうさすがにいてないけど、最後の満開になったあとぐらいにもう、いてない。
しゃ：ああ。最初があったの？ でも、満開の最初のころって、満開に移った、っていう…結構、こう、パソコン通信を始めて、もずーっとじゃあ、それ系を中心に活動してた。あとはインターネットと？
健人：うん。
しゃ：あと、あのころってさ、SX と同時に zsh もあったじゃん、zsh の…、あれって結構あとだっけ OS/2 に zsh がいったのっていう…
健人：あれは後のほうだね、AT 買ってからだから
しゃ：結構あとか、あれって、ずーっと見てるからさ(笑)。
軟派：けんとさん、div もそうでしたっけ？
健人：div も…すごいあとの方だよ。
しゃ：div はほんとに終わりのほうだから。
健人：Oh!X で終わりぐらいのころだもん。
しゃ：最後の原稿だっけ？
健人：あれは、最後のおまけのディスクだよな、だって。

しゃ: よく覚えてるねえ、さすがに使ってただけあって。

ロボ: あー、divか、割り算。

しゃ: 割り算。

ふる: なにそれ?

しゃ: あの、マクロを lisp で書くの

ふる: ふーん。

しゃ: そのファイラー

ふる: そのころから lisper だったの?

健人: なんで lisp だったんだろうね

しゃ: ねえ

健人: 今でも不思議なんだけど

(笑)

しゃ: 君が不思議に思っただろう

ロボ: emacs 使いすぎじゃないの

(笑)

健人: …lisp はいいぞう

(爆笑)

しゃ: ガベージコレクトちゃんとしてくれれば lisp はいいぞ

ロボ: や、知ってるけどさ、おれも lisper だから、どっちかというと

しゃ: けんとはんとねえ、パソコンだけを見ると、すっごい地味なの

健人: いやいやいや、それ以外でも地味だから。

ふる: え、ちょっと待って、ポイだ、ポイだ.x だっけ?

しゃ: .r

健人: こんなものポイだ。

ふる: こんなものポイだ、.r

健人: こんなものポイだ.r

しゃ: 最初にあの、あれって x6gzip ML だっけ? あんときにけんとか SX ずーっとやってて

健人: x6chat²⁷ じゃないの?

しゃ: x6chat だっけ? あんときに、右クリックでメニュー出して、すぐゴミ箱に捨てたらいいね、っていうのをけんといったら次の日にすぐプログラムがきたの。試してね、つのがきたの。それがもう、名前がいきなり「こんなものポイだ.r」

(一同爆笑)

にら: すばらしい。

しゃ: これが、何回も噂になる、あのプログラムですよ。

ふる: ふーん、じゃ今でいう Windows98 とかで右クリックして削除、つのができたんだ。

しゃ: そそそ、あのころなかったから。

ふる: SX になかったんだ。

健人: いちいちつかんで、掃除機までぐりぐりぐりってね。

すら: あ、そっかあ

しゃ: あ、そういうねえ、なんか小物は結構 SX 関係では、小物、この人(ロボ)も小物いっぱい作ってるけど、この人(けん)のほうがもっと作ってるから

健人: 多いよ小物は

しゃ: むちゃむちゃ多いよ

ロボ: 数はオレより全然多いよ

健人: コーディング 10 分、ドキュメント 30 分とかね

(爆笑)

にら: じゃあ、昔のアーカイブが溜まってる MO とか漁ると、たむらけんとたむらけんとたむらけんと…

しゃ: おれはもう、たむらけんとディレクトリあるもん、MO の中に。

²⁷ x6chat という X68k についてたあいがない話をする ML があつた。

にら：そか、整理しないとうちも。

しゃ：ほじくると面白いよ。

にら：ていうか、あとほじくってとりあえずチェックしたいのは、ArctanXとか

しゃ：ArctanXも別ディレクトリあったよ

にら：あと沖勝とか

ロボ：ガビーン

しゃ：有名人はねやっぱりね別ディレクトリになってるよ、うち

にら：ていうかやっぱ、1回全部、全部アーカイブ目通して…

しゃ：そう、ほどいてさ、ドキュメント読まないとちゃんと。面白いよ今読んだら。

(笑)

にら：とりあえずあれでしょ、ハンドル名 infoseek でチェック

しゃ：いやあ、この人(けん)はねえ結構ねドキュメントの端々に面白いこと書いてたんで、機会があれば、読んだほうが面白いよ。

ふる：えー、探せないんですけどすでに。

ロボ：いや、東北大学の

健人：あ、秋保

ばや：秋保ですか？

しゃ：秋保見るしかないね

にら：秋保って、今外から触れるんだっけ？

ばや：触れる

しゃ：ばりばり

にら：いや、昔あの例のあんな事件²⁸のときに、一時期触れるとか触れないとか

ばや：いまだに秋保はずっと公開 ftp で動いてます

しゃ：うん、動いてる動いてる

ロボ：大丈夫だ、見れるぞ

ばや：うちの母校から 1hop なんですよ

しゃ：けんとはだいたい、活躍わかったよね、ほんとに普通のネットワークカーで、プログラム組んでたっただけでしょ。普通。ここまでは普通なの。で、今回話を変わって、ごりー。ごりー

ごりーの場合は、あのX1時代って、あんまりまあネットワークってなかったけど、

ごりー：うん、やってない、X1の上はネットワーク持ってなかったから。

しゃ：で、68 触りだしてから、なんだっけごりーの一番初めのやつ。

ごりー：おれはね、一番初めはね click.x なんだよ、あの pcm クリック。

(あー)

健人：持ってた持ってた。

ごりー：今 68 起動するとまだ鳴ります。

しゃ：でも古いソフトだよなあれもな。

ふる：えー、なにそれ。

ごりー：キー押すと、あの一、オレは当時 X1、X1 はあの、押すとクリック音が鳴ったのね、ブツっていう。あれを出したくって、あの、なにでやろうか、pcm でやろう、adpcm 積んでるから adpcm 再生するようにしようって、一応中身はそのブツっていう音の pcm データ持つてるだけなんだけど、ファイル読み込めるようになっていて、なんでもできるですよ。

にら：そういえば、click.x の最初に出てくるタイトルってあれってさ、大文字だったよね、大文字でゆーか全角だったよね²⁹。

ごりー：うん、全角全角

しゃ：ごりーはねなんかね、キャピタルは全角でってのが好きだったよね。

ごりー：うん。

にら：でも後半でも半角になってた。

ごりー：うん、それはウザいから。

²⁸ バナー広告リンクの是非で東北大の AUP が問題になった。

²⁹ Gorry って書いていた。

しゃ：そそ、直ったね。

にら：いやだって、あの最初 X68k 買った時にごりんとこから環境まるまる持ってきたときに、click うるさいって、当時 88 使ってたから click いらぬや一って真っ先に消したのがそれだから

しゃ：X1 使ってたらあの click 音がないとなんか不安だったの、ほんとに叩いてるかどうかかんなかったから。

にら：でも一時期入れてたけどね

しゃ：ネットワーク関係にいったのって結構あとだよなそう考えたらね、自分で作り出したのって

ごり：えーっと、いや、それがそうでもなくてね、68 買ってすぐモデム持ってたから、うん、そういう意味では

しゃ：2400 くらい

ごり：1200

にら：1200 だよ、で、ごりーが 2400 買った後にそのモデムがうちに 5000 円できたの、

しゃ：高けー

にら：いや、当時は適価だった。

ごり：適価だよ

にら：で、わしがふにふに使って、わしも結局あの 2400 のポケットモデムをゲットして、で、その 1200 が 5000 円で売られていったという

しゃ：お前ら極悪だなー

ふる：ひどい、ひどい人だなー

にら：今はね

ごり：当時は適価だったんだよ

ふる：じゃなくてじゃなくて、5000 円で売ってもらったものを 5000 円で売るって。³⁰

にら：だって需要があるんだからいいじゃん。当時はだからそれでも問題ナシだったんだから。

Kain：当時 2400 だって 5 万くらいしてたよな

しゃ：うん、してたしてた

ごり：オレ 25000 円位でたき売りしてたの買ったんだもん偶然、2400 は

にら：事実上 5000 円のだってほとんどごりーに売りつけられたような感じだったしなあ。

しゃ：極悪だったのか。

にら：いや、でもそのあとさその 1200 モデム買ったおかげで電話代使まくって、親に怒られた。

しゃ：結局ね

ごり：オレも、おれはあんとき、おれは始めのときに電話線引いてたから。

しゃ：原稿料で？

ごり：え？ うん。

(爆笑)

ふる：すごいなー。

しゃ：すごい高校生だよなー、今から考えるとねー。

ごり：で、はじめてネットワーク始めて半年で、電話代がいまだ過去最高 49920 円。覚えてるよ。

しゃ：安いね。³¹

ごり：まあ。

にら：今考えればね。

Kain：だって東京のネットにさーアクセスしてた

にら：しかもわし、それでごりーに引き込まれておんなじところにアクセスしてたし。

Kain：そのときわしたちと知り合ったの。

³⁰ インタビュー中には語られなかったけど、その 1200 のモデム、実は GORRY セソセイも 5000 円でゲットしてたはず(汗)

³¹ 北海道と一緒にするなー(笑)

しゃ: そのころからの腐れ縁なわけね。…ネットワークに upload したのもおんなじくらい?

ごり: そう。

しゃ: 最初のころのごりーの作品ってさあ、いつのまにか普段使ってるツールの中に Gorry 作のがいっぱい入ってて(汗;)、

健人: なんとか G ってるのが。

ふる: なんとか G ってるに?

健人: refreshg とか apicg とか。

にら: とりあえずなんか作ったら後ろに G ってつけるとなんでもごりー作。

(笑)

ごり: 人のコード解析して自分用に修正かけたりするのをけっこう好きでやってたのね。

ふる: なんとか G ってるのが多いんだ。

(3614)

にら: そういう意味では di はけっこうさあ、G はつかなかったよね。

ごり: ああ、あれは別にいらないもん。

しゃ: di ってさ、一部ではむちゃくちゃ流行ってたんだけど、北海道ではホントに分かれてたね、tf 系と di 系に。

にら: しかも di は本家の、正常進化系の di と、わし使ってた 0.51 ベースで…

ごり: あのあと 0.87 かな? 次に入れたのが。あれがあまりに操作違ってて、ポイってやめて「じゃあ 0.51 改造始めよう」って。

しゃ: それは動機だよな。改造の動機ではあるよね。

にら: ごりーとおれが同時に遊んでたんじゃなかったけ。改造して…

ごり: そう。二人で同時に始めてて、そのうち merge したんだよ。二人の作品を。で、いったりきたり。

にら: だから 0.51 の履歴見ると、バージョンアップ履歴が交互になってるはずだよ。

しゃ: あーんじゃそのころから二人でコード書きながら、contribute しながら、お互いに。

にら: でもおれのほうがごりーから受ける影響のほうが大きかったけどな。

しゃ: まあ、ごりーセソセイですから。

Kain: わしも 68 のアセンブラは教えてもらったような気がする。

にら: そうそう、「ごりー先生のアセンブラ講座」ってのが。あれがあったなあ。

しゃ: なにそれ、ネットワーク上で連載したやつ? ありがた。

にら: しかもね、結構ね、今見ると絶対ウケると思う。

Kain: あったなそんなの。

しゃ: パソコン通信やってたころってさ、自分の知識がある程度たまってきたらさあ、みんなにもわかってもらおうと思ってやるじゃん。

にら: それはあるな。でもね、あれはけっこう見ものだよ。

しゃ: オモシロおもしろいの? 再発掘を願う!! 再掲載とか。いやーボリュームあるね今回。

にら: あれでも完結しなかったんじゃなかったっけ。ホストのトラブルかなんかで。

しゃ: ログ残ってるの? 途中までとか。

にら: アーカイブの形式で残ってたはずだから。

Kain: かなり古いぞアレは…。KEN-NET のだから。

ごり: あのころからね、草の根にしかいなかったんだけど、しかもシソオペ知ってるところにしかいない。

しゃ: けんとの場合は大学にインターネットの環境あったってのもあったし、それからパソコン通信もある程度メジャーなところだったし、

健人: NIFTY と Network-SX ね。

しゃ: ごりーの場合はね、なかなか出てこないの。草の根にしかいなかったら一とつ。

健人: 初めてネットで一緒になったのって、シーラカンスだけ?

しゃ: お互いに ID 持ってたところ?

健人: ツクモの人がシソオペやってたところ。江戸川区にあるんだよね確か…。

ごり: それは…大昔のがらくた?

健人: あ!! がらくただ。がらくた。

ごり: あそこはけっこう長い間いた。最後のパソコンの居場所といえば居場所かもしれないな。
しゃ: わざわざアクセスしたの?
ごり: そう。
ふる: 厚木から?
しゃ: 市内にはなかったの?
ごり: だっておれ、パソコン時代は最初っから最後まで東京都内しかアクセスしてないし。
にら: あと多摩か。
ごり: それも東京都内だ一応。
しゃ: あーそっかー。ごりーの場合はツールが転載って形で広まってっただよね。
ごり: そう。
しゃ: だから始めのころ、ごりーの書きこみとかも見れなくてツールだけしかこないのよ。
「こいつ、どんなやつなんだろう?」って思って。北海道ではむちゃむちゃきみが話題になってたの。これは趣味人とかに聞けばわかるんだけど、趣味人と二人で「ごりーの作るツールってアヤシいよな」って話してたの(汗;)。根拠もなくさ。
(笑)
ごり: そりゃあやしいよ(笑)。基本的にあやしいよ。
にら: そうだよな、おれが社会人になったころ NIFTY に入って、ごりーはまだカード持ってなかったから…
すら: にらたまさんがそこで仲介してたんだ。
ごり: 半分くらいはそう。
しゃ: じゃあの転載してたのってにらたまだったんだー。
にら: そう。それはわし。
健人: 知らなかった…。
(笑)
健人: ハンドルはどんなだったの?
にら: ハンドルは…こぼやしのままだったような
しゃ: ひらがなで「こぼやし」?
にら: うん、たぶん。
しゃ: 実はそんなところにこの人も関係してたわけね。
ごり: そうそう。
にら: 広報担当だよ。
しゃ: そっかー。後方支援の人だったのかー。
(笑)
しゃ: ごりーは途中から人のツールを改造したのも含めて、だんだんオリジナルにシフトしていったよね。…Yatsube さんの改造になるのかな? あれ³²って。
ごり: あれは一から書いてる。あの辺はもう頭の中にあっただから…
しゃ: なんであれは最後が G じゃなくて F だったのか、とかね。
ごり: アーカイブ名は G だったけど…なんでだったかな?
ふる: なんか、なんかこの人、この人ギャルゲーしてるよー
(笑)
しゃ: しょうがないよギャルゲーロボなんだから。これ、すいません、入れます。
(笑)
ロボ: ひどい…
ごり: あの一あれだ、あの pcmxf だったと思うけど、あれはその yatsube ツールに全部名前合わせてるのまんま。
しゃ: あ、とりあえず名前だけは互換性があるように、見ただけで判るように作ったんだ。
ごり: そう。
ほんとは最初のころってさ、ごりーってこう、人のツールを便利に改造してて、あの当時はむっちゃくちゃありがたかったのね。で、途中からさ、あの変なツールが出てきたじゃない。

³² PCMTTOOLS というのがあった。アーカイブ名は PCMTG1xx.LZH だった。

Twentyone は、あれも改造だけど。

ごり：あれは改造。

しゃ：途中でさ、grad とか出てきて、あれはねー、むちゃむちゃねー、北海道ではむちゃむちゃ怪しがられてました(笑)。だからあのころってさー crandisk とかさ、いろいろ可変のやつはいっぱいあったじゃない。で、いきなりごりーがポコーンと出してさー、「このツールは今までのツールと同様に怪しいのじゃないだろうか」というね(笑)先入観があって、本当に可変 ramdisk を使っているものだろうかと…

にら：いや、怪しいといえば怪しいよ、だってわしら人柱だもん。

ごり：Kain とさー、あとときどきくる Kenji が、彼らが chat したままそのままやって FAT 壊れたって。

しゃ：ありがちありがち。

にら：次に人柱になったの pumpkin の連中だよな。

しゃ：ああ、いちおうだから仲間内では安定取れたから、外に出して見てっていう感じで…。

ごり：うん。

Kain：毎晩毎晩チャットでさ、動作報告とかさ、いろいろしてたんだ。

しゃ：おれもだから、最終的には今でも grad 使ってるんだけど、だからあの、メモリアロケーションの関係がちゃんと指定できたのが、最終的な結論だったんだよね。あのツールは。他になかったから。他のはメモリ先頭から取るしね。で、あの当時だからそれからかな、ごりーに対する見方変わったの、北海道で(笑)。北海道では grad が安定するまでは、けっこうごりーの作るツールは「怪しい」というね、北海道の南京と、あとその周りの仲間うちでは結構あったんだ…。

にら：ま、一部あったからね、あの別に東京でも。

しゃ：あ、そうなの？

にら：正確なコメントじゃないけど、あの、やっぱなんか挙動が以下略とか、そういう話は聞いてはいたけど、まあ別に…。

しゃ：まあ最終的には覇権獲ったんだから、よかったじゃない。

にら：覇権獲ったからといって訳じゃないけど。まあでも便利は便利だから。あれ、あれだからね、ケツからとるから、リセットかけても残ると。

にら：最大のポイントはそれなんだよ、ケツからとるから。

しゃ：そう、あれができたのがオツケーなんだね。残ったの。

すら：でも聞けば聞くほどコアメンバーなんだね、この集団は。

(笑)

しゃ：一部の、一部の人間だけどね。

ロボ：こっち指差すなー。

しゃ：だから、**だったのに**一の人たちだけね。

ごり：あれそもそも、俺はあの一、アレ作ったとき、他の ramdisk ドライバ知らなくて。

しゃ：あ、そうなの？

ごり：純正の ramdisk しか知らなくて、あれがケツからとる仕組みはどうだっさとこから始めてる。

にら：確かに。結局あの当時は ken と pumpkin と、あとそんなもんだっつけ、メインでいってたのは。

ごり：いや、あのころはまだ ken-net しかなかったよ、pumpkin いてないよ。あ、grad のときってそうだったっけ？

ごり：うん、ken-net

Kain：ken-net でだから chat して…

しゃ：へー

ごり：いや、あれはもっとあと、あとあれだ、あの gsamp だ、あのサンプリングツール

しゃ：ああ、長時間サンプリングツール、はいはいはいはい

にら：あれ？ grad って refreshg のあとじゃなかったんだっけ

ごり：いや、ずっと前です

しゃ：昔からある

にら：そうか

しゃ：昔から怪しかった。記憶は、記憶は

にら：記憶がけっこうあいまい

ごり：あれはねー、はちじゅう…89 だと思う。

しゃ：うん、だって、俺まだ室蘭にいた頃に、室蘭のパソコンネットに一所懸命転載してたんだもん

健人：89…通信始めたの 92 年。

しゃ：ああ、そうなの？

にら：そういえば、草の根のころって、結構北海道から東京のほうにかけてくる勇者とかいたよなー。

しゃ：勇者じゃないよ。あれはねー北海道にないからみんないくの。しょうがなくて。

にら：えーとね、あの一、なんだっけなあ、mx の改造してた人がねえ

しゃ：mx って何…？

にら：名前が出てこねーや。mxdrv。

しゃ：Mink？

にら：あ、そうそう、ペシペシにいたんだけど

しゃ：うん、Mink だよ。

にら：あの人も結構勇者だよ。だって、あの頃に北海道から 1 時間チャットしてるし。

(笑)

しゃ：だってあのころ基本だもん、それって

すら：いや、冗談めきでさ、7 万 8 万月請求来て、下宿代払えなくて止められたんだから。

しゃ：ちがう 6 桁 6 桁、うん、そうそう、北海道から 6 桁って基本だったから。

(すげー)

ふる：今 6 桁払ったら、1.5M の専用線ひけちゃうんだよ。

(笑)

しゃ：だからあの頃はそうだったんだよ

にら：だって、当時わしらだから横浜からさ。

しゃ：東京にかけるのに？

にら：あんなペースでつないでて、よく生きてるな一っていう。

すら：そうだから、暦が変わって急にアクセスしなくなったら「あ、いっちゃったな」っていう

しゃ：あ、飛んだなって。

にら：あと、ちょっとここはできればオフレコにしてもらいたいんだけど、あの、当時のペシペシの裏ボードにあの×××とか上げてて、よく。だから当時あのサイズ、上げるってのは勇者だったから。

しゃ：あー、確かになー。

にら：市内からでもね。よくあんなの上げてるよなーって、みんなでいったよね。

しゃ：それはあったよねー。それをさー北海道の人間がさー、ガンガンガンガンダウンロードしてんのね。

健人：昔は、100K 越えるるとすごいデカイっていったよね。今なんかは 10M 越えるくらいなら平気だもん。

しゃ：そうそう、今 10M 越えるのは平気だけど、あの当時は 100K っていったら、ねえ…

Kain：でかいでかい。

にら：だからだから、当時あれだよ。BigModel だとやっぱりあのバイナリで上げるより ISH で上げたほうが安定してたんだけど、ISH で上げるとやっぱ肥えるから、それをどうしようかなあっていう部分もあったし。

すら：みんな経験あると思うけどさ、夜の 8 時にダウンロード開始して、朝の 6 時にまだ終わらないとかあったもんなあ…。

しゃ：あー、やっぱりね、けんとはね、ちょっとね、浅い。

健人：でも、地味な人生送ってるでしょ。

しゃ：ごりーがね、派手過ぎ。で、ちょっと役割変えていい？ でも、変えるとつまらないんだよね。ごりーはやっぱり受けじゃないとつまらないから。

すら：いやでも、けんとさんはやっぱり千里眼のころからブレイクしてくるんじゃない？

にら：だからインターネット時代にはいつてからのけんと様の、あと大学時代のけんと様の勇姿…

ふる：大学時代…やっぱりあれじゃないかな、大学から大学院にかけての（ピー）
（笑）

しゃ：ごりーは怪しかったけど派手だったと。全国に名が轟いてた。早い頃から。

にら：まあセソセイだからねえ

すら：で、いちばん面白いのはごりーさんが自らそれを望んだわけじゃないのに、いきなりその形になっちゃったっていうのが一番面白い。

しゃ：自分は何にもしてないのに、なんか遠いところで、北のほうで怪しいとかいわれてて。ごり：それはあれだよ、ある意味、電波ソフトおれ買って、あのへんの readme ドキュメント書いてたの、半分俺だから、それ読むと明らかに怪しいから

にら：でもよくよく考えるとさ、ごりーのセソセイの発端にしろさ、GORRY 先生系のツールの配布関係にしても、本人がからんでないんだよね。

しゃ：ああそそ、ごりーの 68 ソフトにはとりあえず例の使用許諾書みたいのが必ず入ってるじゃない。絶対コレ読めってのが。で、読まないで使うやつらが多いんだけど、で、これって今考えると普通なんだよね。

ごり：うん

にら：先取りだよな、今考えるとね。

しゃ：あの当時から考えると、受け入れられなかったかもしれないけど。今考えたらすごい普通なんだよね。

ごり：だってあれは大学入ったときに GNU Emacs マニュアルを読んで、あれから入れるようになったから。

にら：おれも最初あれ読んで、これウザったくない？ ってクレームつけたような気がするんだけど。

しゃ：ああいう形になってると、なかなか読まないから、それはあったよね。確かに。

ごり：うん。

しゃ：で、ただ、毎回入ってるって安心があったってのがあったよね、後半は。

にら：それは言える。でも展開するとみんな上書きやねん。

しゃ：そう（笑）

（笑）

しゃ：それはあったけどね。

にら：あの ramdisk にごりー関係のツールばんばん入って展開するとさ、みんな上書き。

しゃ：上書きしますか？ はい、とか。かならず A とか押して全部上書き…

にら：で、コピーして、ごりー方式、バイナリのディレクトリの下にドキュメントだから、入れるとドキュメントにみんな 1 個しか入ってないから、そこで上書き。

しゃ：まあ、書いてることは、だいたい同じだからねえ。

ごり：全部同じだから、そりゃ 1 個でかまわない。俺だって 1 個だったからあれは。配布時期によってバージョンが違うだけで。

しゃ：あのころからやってたのはまあ、ごりーは普通だとか思ってたかもしれないけど、あの当時ってああいうことをちゃんと書いて、しかも別ドキュメントにしてるのってなかなかなかったじゃない。

にら：だから、GNU のあれだけでしょ。

しゃ：そそそ。

にら：確かにあんときに、だから GNU の MANIFEST とか訳されたのがあったから、読んでみたりはしたけど、

しゃ：引地さん訳のやつね。

にら：あの当時は深く考えなかったけど、今考えればああそうかなって。

しゃ：これあって普通だよなって思うよね。

しゃ：どーしてもごりーが派手になっちゃうな、おかしいな一、ごりー受けのはずなのに…。

ロボ：だってコンピュータの話してるからじゃないの？

ごり： うんそうだよ。

(爆笑)

しゃ： じゃ、じゃあ、今オチがついたところで、ちょっと休憩一。休憩しましょう。

ふる： ちょうど約一時間だから。

■千里眼

にら： とりあえず第二部ということで。

ふる： けんとさんの活躍から。

しゃ： やっぱり田村健人といえば!

一同： 千里眼!

しゃ： さすがですねーみなさん。

ごり： 最初に使ったエンジンが千里眼です。

しゃ： あの当方でユーザが作った、企業とかに依存じゃない検索エンジンってのは千里眼だったわけね。

ふる： 日本語のね。

健人： 日本初です。

しゃ： あれを作った動機ってのは? 研究もあったんだろうけど

健人： まあもちろん研究のネタを探すというのもあったんだけど、日本語で検索できるエンジンがなかったから。自分で「ないものは作ろう!」そんだけですよ。

しゃ： それだけなの?

健人： うん。

しゃ： あんだけやっというて? あの一名称未設定(だっけ? 名称募集中だったような)っていう。(笑)

しゃ： 一番初めの名前がそれで…募集したじゃん、あん時に

健人： そう。だから…94年の12月くらいにサービス始めて…名前が決まったのが95年の9月か10月くらいだった

ふる： ちょうどね、Internet Watch が始まったころ。

しゃ： あの当時にすでにメールでやりとりしてて、こういうサービスを始めるからこっちも見てね、ってんで見にいったら「名前募集してます」というのがあって…あれって結局何人くらい応募があったの?

健人： けっこうあった。10人くらいかな。

ふる： 一番変だったのは?

健人： さすがに覚えてないけど(苦笑)、そんな変なのはなかった。みんなちゃんと考えてたし。

にら： 突飛な名前ってのは?

健人： いや、覚えてない。みんな普通だったよ。なんとか searcher とか…。一応「千里眼」にしたのはね、一番こう、意味もなんかいいし、日本語である、つてのが一番大きい。英語にはしなくなかった。

しゃ： あれを作った当時、研究の一環ってのもあったんだろうけど、どのようなものを目指したの? 初のロボット型でしょ、日本語検索できるロボット…

健人： いや、おれにはビジョンはない。

(苦笑)

しゃ： ないの?

健人： ないから作る、困ったから作るっていう、それだけで、特にビジョンはない。

ふる： え、でも修論はあれだったんじゃないの?

健人： 修論はちょっと離れてるんだわ。検索そのものじゃなくて、修論のほうは、分散 web ロボットだから。

ふる： 卒論は?

健人： 卒論は千里眼ね。

ふる： 一応でも、ね、ああやってするためには学術的な理由づけをしたわけじゃないですか。

しゃ： いいねえそのツッコミ。

健人： いや、あのね、うちの研究室の主義で「とにかく学部生のころはなにか作りましょう」

と。教授の主義で。

しゃ：理由はあとづけでいいの？

健人：「何か作ってくれば、単位はあげるから」そういう先生だったの。

ふる：理由づけはあとでよかったと。

健人：うん。

ふる：じゃあ、その教授が「それは面白いね」っていうかどうか。

健人：まあそうだね。

ふる：ふ～ん。

しゃ：結局千里眼っていうのは初の日本語検索エンジンだったわけで、むちゃむちゃヒットしてサーバが何回か落ちたじゃん。

健人：もう何度も何度も落ちました。

しゃ：あの当時、サーバの upgrade って何回もしたじゃない。

ふる：Load average が 100 越えてたり。

しゃ：そうそうそう

(笑)

健人：しょっちゅう越えてたね、100 ね。

しゃ：それは語り草だよな。

ふる：ってゆうかさ、バン！て検索するとなにも返ってこなくて、数字が三つ返ってきて(笑)、最初それがなんだかわかんなくてさ、「なんなんだろうなこれ～」とか思って。たいがい三桁の数字が三つポンポンポンって。

(笑)

ふる：最初はさ、90 いくつとか 80 いくつとか、そういう数字が三つ返ってきたりするのよ。「なんかの点数かな？」とか

(爆笑)

しゃ：「あなたの検索した単語は何点です」とか？

ふる：そーそーそーそー。なんか意味あるんだろうか…って。

しゃ：あの当時(ってこればかりだな)、研究室単位なんでしょやっぱり。サーバも研究室のサーバ…？

健人：あれはもともとね、たまたま情報学科の web server を立てよう、っていう話があって、それをまかされたわけなんですよ。まあ、NCSA httpd っていうのをに入れて云々…ってのを当時やって、その情報学科の name server のアカウントをもらって、うちの研究室のコンテンツはそこに置くことになったのね。じゃ千里眼もそのサーバでやっちゃおうか、と。で、やっちゃったわけね。メモリ 32MB のマシンで…

(笑)

しゃ：ディスクは？

健人：ディスク…もそんなになかったと思うな。

しゃ：あの当時だから…あって 2GB くらい？

健人：1GB あったら多いと思うよ。

ごり：1GB あったら多いよ、うん。

しゃ：あのころ、何回も落ちたじゃない？ そのたびにユーザのことを考えて CPU の upgrade したり、とかはあった？

健人：結局ね、そのマシンそのものの upgrade っていうのはなくて、院の研究室に入ってから PC 買って Linux 入れて…そのほうでエンジンを動かしたの。

しゃ：http://www.info.waseda.ac.jp/search/ とかだったよね…

健人：最終的には情報学科のサーバで front end のページだけ見せて、CGI もそこで起動するんだけど、実際の検索は研究室のマシン…

しゃ：この辺はアスキーには載ったんだっけ？

健人：いや、載ってないんじゃないかな…。

しゃ：裏話？ にや

さの：なんでアスキーにサーバを置いたの？

しゃ：そ、それも聞きたかったの。当時って早稲田とシャープと…？ 共同研究になったんだよね最終的に。

健人：いや、千里眼そのものは個人の研究で。それは別の話なんですよ。千里眼そのものは修士二年のころくらいに、アスキーのほうから「資源提供するからそこで勝手に研究していいよ」そういう形で申し出があって「じゃ受けましょう」と。それでアスキーに移したの。分散ロボットの話はまた別で、それがシャープとか東大・京大とか IPA とか、その辺で協同研究って。それがまだ続いているわけですよ。³³

しゃ：で…。今だからいえる「千里眼のダサかったところ」というのを…

健人：ダサイところ…そりゃダサイよ(冷笑)。一番初めの実装は…grep 使ってるんだもん。(笑)

ふる：なに、コンテンツは向こうから持ってきて、それを grep で探してたっていうこと？

健人：とりえず最初はタイトルの表示だけだったから、一行一エントリのインデックスを作っておいて、grep でダーッとなめて

(笑)

健人：で、出力されるタイトルに対応する URL を一緒に…ポットと出すの。

しゃ：全文検索じゃなかったからね。

健人：grep だよ grep。でもそれで間に合ったんだからね。

しゃ：うん。あの当時はね～。ページ少なかつたし。

健人：速かつたよ。始めたころは、だから日本中の全ページ集めて、タイトルと URL の組みのテキストファイルを作っても全部で 7MB。

(ほ～)

ごり：すくねー

健人：少ないよ。

しゃ：94, 95 年だもんね～。

ふる：全文検索じゃないしね。

すら：でも結構なアクセス数だったんじゃないの？

しゃ：まあ落ちるくらいだしなあ。

すら：研究室も千里眼はデフォルトで bookmark に入ってたし。

さの：NTT と同じくらい入ってたんじゃないか…

しゃ：日本だったらあの当時は全部の bookmark に入ってたはずだよ。

一同：入ってた入ってた。

しゃ：あの変なロゴマーク？ ALT に書いてある、あの…(と身振り手振りで説明)『<O』ってのは誰が考えたの？

健人：おれおれおれ。自分で考えたの。

(笑)

しゃ：あの目玉みたいな…

いら：目のつけどころが…

(爆笑)

健人：あ、書いてからね～「ああつ、シャープだ～」って

(爆笑)

しゃ：こういう話をね～、お客さんは聞きたいんですよ(笑)。

(笑)

健人：いやでも……千里眼の話はもうやめようよ。今(の千里眼)は…知らん。

³³ 「Internet 広域分散協調サーチロボットの研究開発」

早稲田大学、日本アイ・ピー・エム(株)、通商産業省工業技術院電子技術総合研究所、京大大学、シャープ(株) (1998.4～2000.3)

これとは別に「分散型 WWW ロボットによる WWW 情報収集」

<http://www.aist.go.jp/ETL/yamana/Publications/ABST/DEWS98/24.htm> っていうのも。

しゃ：今はもうやってない。

ふる：止まってるでしょ。

しゃ：書いてあるけどね。けんとの名前で「サービスは終了しました」…だっけ？

健人：まあ、いいじゃないか。だってさ、いまさらさ、たかだか PC 数台で goo とか infoseek になうわけないんだもん。

にら：AltaVista なんかすごいもんなあ

ふる：すまん!(笑) いや、あれはいろいろあるんだけれども…

(爆笑)

■速度王と呼ばれて

しゃ： どうしてあんなに速いの？ というか、なんで買って三日で終わるの？

(大爆笑)

健人： や～それはねえ…

すら： まず速度王の由来。

しゃ： それはのちほど詳細に…。

ふる： 根っからのゲーマーなんじゃない？

しゃ： でも、寝てるんだよ？ この人は。

ふる： ああ、違うよね…(誰かを見ながら)

健人： 違うよね。(誰かを見ながら)

にら： 違うよねえ。(誰かを見ながら)

ロボ： こっちを見ながらゆーなー!!

(笑)

すら： あの手のはやっぱり攻略がハマる!? 選んだ選択枝に間違いがない?

健人： いや、だいたい始めて1回通せばだいたいわかるでしょ。どういう傾向で選択して、どういう意図で選択肢を出している、つてのがわかるから、まああとは選ぶだけでしょ。

ロボ： 全文検索ではありません…

(笑)

ふる： grep でタイトル探してるだけ?(笑)

にら： 実は千里眼内蔵…

すら： 邪心が無いのかね?

健人： いや、邪心だけでしょ。

Kain: 目のつけどころが…

健人： 集中してやるのはやっぱり速いよね。

しゃ： じゃなに? この人は(と沖ちゃんを指して)集中してないわけ?

ごり： おれは集中してるようには見えない(笑)。

(笑)

ふる： ていうか、いろんなソフトを同時にやりながら、あれもこれも…

しゃ： あ、そうか、この人は一途だから…

健人： うん。

しゃ： 買って、やりまくって、売るっていう。

ごり： それはおれもおんなじだと思うよ。

しゃ： やりまくって捨てる人だから。

(う～わ～)

ごり： おれ捨てないよ～(笑)。

ばや： 今ここのだけ切り抜いたらスゴいアブナイよ。

にら： 今のやつって IRC だったら必ず topic になっているよ。

(爆笑)

ばや： Kent> やりまくって捨てる

たけ： それ言葉の捕らえようによっちゃかなりヤバイよ

ふる： んん～でもやりまくって捨てる人なんだね。

しゃ： じゃ、建前としては「集中して取り組んでいる」と。

健人： そ。集中しているからですね。

たけ： 建前なの?

健人： ほんとに。

ふる： だから、が～～～～ってやるけど、終わったらポイ、と。

軟派： こんなものポイだ…

(爆笑)

ふる： 頭の中で右クリック…

■Web 日記といふもの

しゃ：速いのはいいとして…そういうゲームをやり始めるきっかけというのは…

健人：きっかけはね…沖さんとね、は一すけさん…

(爆笑)

健人：まあ、そもそもは web 日記からなんだよね。

ふる：日記が先なの？

健人：先だよ。…じゃ web 日記の話からしましょう。

しゃ：はい。

健人：x6chat のころ、どういうわけだか、しゃあるさんが web 日記を始めたらしい、と。読んでたんだよね。それが…95年の秋ぐらいから読み始めて…

しゃ：すでに日記リンクス³⁴に捕まってるころだね。

健人：で、そのうち Network-SX の沖さんとか George さんとかが日記を書き始めて…

しゃ：ジョージ？ げおるぐじやなくて？

ばや：げろげ³⁵、げろげ(笑)

健人：げろげさんが(笑)

ふる：ジョージさんて誰だろう(笑)

ロボ：かわいそうに…

健人：ペンチで抜く³⁶人！…が日記を始めて「あーこの人たちも始めたんだ…」と。それで自分も…確か就職活動が終わったくらい³⁷だよな。それくらいから始めて、まあ、知ってる人の日記を読むわけです。それで就職して、5月か6月くらいに³⁸沖さんとは一すけさんが

しゃ：二人で書き始めたよ。

健人：なんか「To Heart というのは面白い」と。「すごく面白いらしい」と。

(爆笑)

ふる：あの To Heart って、ぐわ~~~~~と広がってなかった？「面白いらしい」って。

だってオレ、To Heart が初エロゲーだもん。

(オレもオレもオレも…ってみんな…(汗;))

ごり：ごめん、おれ、初じゃない(笑)。

健人：それで沖さん、は一すけさんが書いて「To Heart って面白いのかなあ。じゃあやってみようかな」って言って…買ったのが始まりだよな、事実上。

しゃ：それからもう、落ちる一方。

すら：だったのに〜の道を。

さの：そのときは何日で終わったんですか？

健人：そんなときは…

ふる：いや…速かったよお(笑)。それがだって速度王の始まりだもん。

ばや：で、周りが始めてて、けっこう時間かかって終わってるのに…

ロボ：終わってない。あかり攻略できね〜とかいって。

すら：ちなみにけんとは初攻略は誰 END だったの？

健人：誰だっけ？³⁹ あんときは確か土曜に買って日曜には終わってたんだよね。

(驚きの声)

ふる：変でしょ？

ばや：周りが一週間二週間かかってまだあかりが攻略できないとかいってんのに、けんとは

³⁴ 当時初の、登録式の日記を集めたリンク集。いろいろ事件もあった。

³⁵ 自分の作った freeware のドキュメントの中で George を Geroge と書いてしまい、こう呼ばれるようになった。

³⁶ Mac からフロッピーを抜こうとして抜けなくてペンチで抜いた。

³⁷ 96年の8月から書き始めている。

³⁸ 97年5月下旬です。けんとは買ったのは6/1。

³⁹ 志保です。…最初が志保かあ。すごいなあ。ちなみに日記によると 志×葵マレ智琴芹×あ でした。あれ、理緒は？

二日で終わってるの。

ごり：でもおれ、あんとき昼間は仕事してて夜だけやって、夜はちゃんと寝てて、それでも三日だよ。

ばや：でもけんとさんの二日は速かった。

しゃ：寝てるのに。

ごり：仕事してなかったら二日で終わってたと思うけど。という意味ではほとんど時間は変わってないはず。

しゃ：あの当時は(速さが)突き抜けてたもん。

ばや：一人だけねえ。

しゃ：じゃ、初エロゲーは To Heart ってことでいいの？ 公式的に。

健人：事実上ね。むかーし、やったこともあったけど。若かりしころに(苦笑)。

ふる：PC-88 のころね。

しゃ：マカダムとか?(汗;)

健人：そこまでいかない(汗;)。天午後⁴⁰とかね。

ロボ：天午後ねえ…。

ごり：おいらはランス⁴¹シリーズをひととおり通してたから…。

さの：1 からですか？

ごり：2 から。2 のあと 1 に戻った。買ってはいなかったけど：-) 買ったのは To Heart が最初。

しゃ：落ちる一方。

健人：落ちたんですか…。

(笑)

健人：その次 3 → 1 → 2 っていったんだよ。

ふる：違う違う。3 → 1 ときて、さきぼんと 1 と 2 を交換したんだよ。

健人：そうですね(笑)。

しゃ：しかもどれも速い？

(笑)

にら：速度王…

ふる：White Album なんか、猛烈な速さだった⁴²もんね。

しゃ：やっぱり集中してるからですか。

健人：…ええ(うなずく)。

(笑)

すら：自分で目標決めて「この娘!」っていうタイプ? それともシナリオ通りうまくやっやろうってタイプ?

健人：いや、まずは1回は通して。その…自分の欲望のままに。

(笑)

健人：素直に進めて…。それで傾向をつかんでから、ま、「このキャラの構成だったら最初はこれだろう」というキャラを決めて順番に。

ごり：おれも確かに最初の一発はそれで、あとはデバグ⁴³やるのと変わらない。

しゃ：おまえ、デバグすんなよ!!

(笑)

にら：つまんなくない? それ

ごり：だっておれはアドベンチャーブックを初めから読んで、あとで全部頭の中でつなげられるんだもん。そういうやりかたできるから。

(おお～)

⁴⁰ 『天使たちの午後』 JAST 製コマンド選択アドベンチャー…だったかな。学園もの。

⁴¹ 『鬼畜王ランス』アリスソフト製国取りタイプのシミュレーション形式。その後 Win95 用も出た。

⁴² そうでもない。5/1~10 までかかっている。

⁴³ この場合のデバグはゲーム作成側がやる、通しのデバグという意味。わかるよね。

しゃ：それって逆にいうと、ゲームを楽しんでるんじゃないかって途中から作業になってない？

ごり：なるよ。

ふる：なんか…そういう感じかな。

ごり：だからできるだけそういうことをさせないですむゲームをおれは欲してるの。

しゃ：二人とも 100% にいく道が作業っぽいね。

健人：そういう傾向はあるかもしれないね。

にら：二人ってそういう意味では似てるのか。

健人：だから、この前 Kanon やって、一応全部 100% にしても「もう 1 回やろう」と思ったのは…けっこう新鮮だった。

ごり：あれはホントに作業いらなかったゲームとしてはすごく…嬉しかったよ。

にら：ごりーは、ギャルゲーアクセラレーションがかかったのはいつから？

ごり：そんな…ランスやったところからベース変わってないよ。

にら：んじゃ…激しく壊れるようになったのはいつから？

ごり：それは日記というメディアがあるからだよ。

しゃ：やっぱり人に見せるために壊れ始めた…？

ごり：それはある意味あるよ。

しゃ：エンターテインメント。

(笑)

にら：あとはプリンタの影響が大きいだろう。

ごり：それはもちろん。ある程度技術誇示な部分はあるやね。

ふる：プリンタの影響？

一同：(声を揃えて)ダメ名刺。

にら：ダメ名刺ほかダメ団扇⁴⁴以下略。

ごり：そもそも昔から PC-PR101 っていうカラープリンタ使って、糊で貼って 8 枚組印刷とかやってたからねえ。

しゃ：ダメ名刺の片鱗が…

ごり：そのころは X1 なんかにキャプチャやってて、全部プリントしてさ…

にら：X1 はとりあえずリセットボタンだからね。

しゃ：リセットしたら GRAM に残ってるの。(画像が)

ふる：変なの。変なマシン…

にら：88FR マザーボード改造して、未使用の dip switch 使って、ON にしてリセットしたら「ちゃんが残るよ、おっけー」って

健人：そんなことするのか…(汗;)

しゃ：けっこう有名な技なんだけどなこれ…

にら：基本でしょ。みんなやるでしょ。

健人：地味だから…

しゃ：あとはリセットして色がおかしかったらパレット一生懸命直すのよ。

ごり：そうそう。

(この後、protect hack の話で盛り上がる)

しゃ：ごりーがランスが最初ってのは別段不思議でもなんでもない…。(時代が時代だから?)

健人：やっぱりスケベってこと？

ごり：なんだそれ(汗;)

にら：結局ランスのころは萌えキャラ以下略とかそういう問題ではなかったわけでしょ。

ごり：まあ、ごく普通に。

しゃ：オマケにエロがあるっつーだけで…

ごり：うん。

しゃ：だから闘神都市⁴⁵とかもそうでしょ？

⁴⁴ お気に入りのゲームキャラなどを印刷した、個人用名刺。見た目がダメなのでダメ名刺と呼ばれる。団扇も同様。

ごり：うん。
にら：やっぱり壊れはじめたっていうと To Heart?
しゃ：日記書いてからだろ一きつと。
ごり：日記っていうメディアだからね。
ふる：尖った部分をより尖らせて書くからね、日記は。
しゃ：自分のためでもあるけど、他人が読んで喜んでくれるほうが書いてるほうとしては嬉しいから。
にら：書き甲斐はあるよね。誰も読んでないよりは。
ごり：そもそも、おれは話を読む教養としてはこういうのがあるわけだからして…(と後ろの本棚を指しながら)



しゃ：減ったけどね。
ごり：当時の三分の一しかないんだよ。
にら：当時を知る人間としてはこれは少ないよ。
ふる：最初に平塚基地に入ったときに「ここはすごい!!」と思ったもんね。
にら：でも見たのってごりーの部屋だけだよ。
ふる：いや、奥もいったいた。
にら：ああ、弟の部屋ね。あと納戸。
ふる：あ、見てない。
しゃ：え、なに？ 弟の部屋にもごりーの本が侵略してたの？
ごり：そう。
しゃ：ダメじゃん!!
ごり：だって、弟いなかったんだもん。
にら：ごりーの八畳の部屋の壁に一面と、奥にスペシャルの棚があって…
ふる：漫画があってベッドがあってコンピュータとかその他もろもろがモニョモニョモニョモニョ～、漫画漫画漫画漫画、本本本本、ベッドベッドベッド～って感じだったもん。
しゃ：ベッドそんなにない(笑)
にら：で、ベッドの下に雑誌とかそのほか山のように詰まって…
しゃ：なるほど～。そういう背景もあってエロには入りやすかった…特にエロではないのか。
ごり：いろんなゲームやる中でやった、というだけだ。
しゃ：アドベンチャーの一環としてエロがあった、と。
ごり：そー。
しゃ：じゃそのころは特にこう、アリスとかブランドにはこだわらず、幅広くやってたと。
ごり：ただ結局 18 禁分野でやってたのはアリスだけのような気がするな。
しゃ：出来がいいのつつたらどうしてもあのころはアリスになっちゃうから…。あのころはレンタルあったしね。
ごり：レンタルは懐かしいねえ。さんざん使ってたねえ。プロテクト外しは腕になりましたわ

⁴⁵ これもアリスソフトの作品。ローブレ。

ねえ。

にら： レンタルの期限があるってのはある意味刺激になったような。

しゃ： そうそう。

にら： しょうがないからとりあえず落ちてない状態で取っておいて、あとでチェッカールーチンだけ潰す、と。

■雲の上と実際と

ふる： けんとさんというと、日記のイメージが後半…(汗;)

しゃ： それはごりーもそうじゃん。二人とも日記を書いて、今までネット上ではわからなかった人間性が。二人とも BBS じゃなくてツールで自分をアピールしてたからあまり人間味が出てこなかったというか見えなかった。

ふる： でも、けんとさんて こんなものポイだ とか…
(笑)

しゃ： けんとは ML でちゃめっ気あるのはわかってたけど…

さの： わたしは千里眼から知ったから、最初のころ真面目な人だなあ、と

すら： そそ、第一印象は えらい人 っていう…

にら： X68k のころはあまり印象なかったんだけど、やっぱり千里眼で…研究とか書いてて、すごいことやってるんだ!! と。えらい人じゃなくてすごい人? もう一段階上って感じで。

ロボ： こっちを見るなよ(汗;)

にら： ホントに雲の上の人…**だったのに**～

しゃ： 実際に会ってみると…ね。

しゃ： もう最終章だもん、オレのメモによると。

にら： いい感じだねえ。

しゃ： ごりーの場合は今の話があんまりなかったから。やっぱりけんとがメインだったから。ごりーの話はもう最終章に突入しているんだけど、けんとの場合はまだ突入してないの。(メモを見ながら)これ、この話があるから…。

にら： ああ、それね

健人： でもやっぱり沖さんにくらべれば、すごい薄い人なの。

一同： 一しん。それは違うでしょ(笑)。

にら： 今までので、けんとさまの**だったのに**の下地の部分はだいたいあらかた聞いたから、**だったのに**のいわゆる下のほうね。

健人： 下…

にら： 今に向けてのほう。

しゃ： こう考えるとさあ、ごりーってあんまり下のほうってないんだよねえ。さっぱりしててさあ。

にら： ああやっぱりね、って感じ。

しゃ： そうそう、そんな感じ(笑)。

にら： まあ、一般的に見ればやっぱちょっと以下略って感じなんだけど

しゃ： だけど、普通にあっけらかんと、恥ずかしそうに話さないもん。それが当たり前だと思って話すから。

ごり： おれは確固たる信念を持つてるからだよ。

しゃ： けんとはさあ、ダメダメなのにぜんぜんオレの本質とは違うんだ、みたいな話をするから。

にら： ま、「けんとシャイ」だからなあ。

にら： (かいんに向かって)P2 見てるなよ。突っ込め少しは。

しゃ： キミ(かいん)からごりーに対してツッコミが少ないよ。この人(にら)いっぱいしてるのに。

にら： そそ、かいんの方面の KEN-NET 関係はアクセス頻度後半から少なくなってるから

しゃ： なに、ごりーはずっと生涯品行方正を…もないけど、そーいうのをつき通す…

ごり: KEN-NET では品行方正だったよかなり。ダメなことはほとんどしてないよ。

にら: ああそれは確かにそう。おれが知ってる範囲では…殊勝だよ。

しゃ: 後半は参考資料としてパズル名刺⁴⁶とか…。

(ここで主将登場)

しゃ: キミくるのちよっと遅い。けんとの SX 時代の話をきみにも聞きたかった。

主将: なにゆ〜いや〜今ちよっと東京 pm ってきたんだけど、今回の話題の 1 部。あのとあるリコーの前田さんは

全員: とあるリコー…(笑)

しゃ: Mad-Player さんの話やん。

主将: 会社で実話⁴⁷やってたらさあ、翌日には社員全員に通達が行って「ネットワークの個人利用はしないでください」って

(爆笑)

主将: 誓約書にも書いてありますって。翌日に通達が回ったのは偶然なのかそれとも…

健人: 福原さんだってさあ、リコーからそのまま出てるじゃん⁴⁸。よくあんなの許されるよね。

しゃ: あの活動が?

健人: 日記でしょ。

にら: とりあえず主将にちよっと補完を…

しゃ: SX 時代の。きみが**あーるもーりあ**だったころ。

主将: いやいまでも一応そうなんだけど(汗;)

(笑)

主将: SX 時代にちゃまとやったやりとりつーと Subject のところで「いや〜ん」「ばか〜ん」とか

(爆笑)

健人: よく覚えてるね。知らんそんなの。

しゃ: 貴重な証言が…。

主将: SXZC の要望だったかバグレポートだったかやってたときに、無意味に subject そうやってた覚えが。

しゃ: あ、本文は普通にやってて、subject だけがバカなの?

主将: そ、いや〜んとかばか〜んとかそんなんやってたような覚えがなんかあるんだけど。

健人: ぜんぜん覚えてない…。

しゃ: やっぱり SX 時代は重要だね。

主将: ちゃまの印象っていろいろあるんだけど、その一部としていや〜んばか〜んがあるんだよ。

しゃ: あの当時は普通の人間**だったのに**、そういうやりとりのなかで…そういうのがあっただけに…

主将: 当時は一見普通の人だった。

健人: なんで一見なんだ。

しゃ: さっきまでの結論としては、二人とも web 日記を書くまではそれなりの人**だったのに**という話。

主将: ああ、けっこう天上界にいたよ。

(笑)

しゃ: それが、うちのレベルまで、またさらにもっと下に落ちたのは web 日記を書いてから…。

健人: 下…。

⁴⁶ 8 枚とか 10 枚に図版を分けて印刷してあるダメ名刺。別名トレーディング名刺とも。

⁴⁷ <http://www.fastwave.gr.jp/eventgen/> ハマると抜け出せなくなる遊び。

⁴⁸ このときの話と関係あるのかないのか、その後プロバイダへ移動。

主将：だから要はさあ、web 日記ってものがさあ、地上界と天上界の境目を崩して…
にら：というかでもね、ごりーのばあいね、一見天上界にいるように見えるけど実際の行動は
そうなんだよじゃなくて web 日記書き始めてからアクセラレーションかかっている感じだから。
ごり：えーそう？

Kain：坂をころげおちるように…

主将：わしが現役で X68k 使ったころなんか、電波のゲームを起動するたびになんかよくし
んないけど ごりー っていうのが出るから、天上界のむちゃくちゃえらい人なんだろうとかそう
いう印象が持ってたけど。

しゃ：普通はそうなんだよ。

主将：それがミートせんべい⁴⁹作っちゃうんだから。



ミートせんべい調理中(1998.4.19)

にら：日記始める前は少なくとも本はいっぱいあったけど。

ごり：ないんだよ単純に。

主将：世間の人の目に触れる部分はまともな面ばかりだから。

しゃ：だから落ちるのも早かったんだよね。

にら：たぶんごりー的には周りから吸収する部分もなかったってのもあるんだろうけど。

ごり：実は POPCOM で別ペンネームで書いてたときは…

にら：ボンポコリン後藤ね。

ごり：あれにはねアニメネタばかり書いてたんだけど知ってて見てる人は世の中に 10 人く
らいしかいなかったはずだから。

しゃ：これもほじくりかえそうか今から。

にら：あのペンネームも即興だったよね。

ごり：最初に原稿頼まれて出した曲が『踊れボンポコリン』だったんだよ。

しゃ：その当時、読者からの反響ってのはあったわけ？

⁴⁹ 『To Heart』に出てきたメイドロボ「マルチ」が作る料理。

ごり: あの雑誌はまったくない(笑)
しゃ: まったくないの?
にら: とうかあっても返事もらえなかったんじゃないの?
しゃ: でも電波はちゃんときたんでしょやっぱり。
ごり: うん。

しゃ: ごりーってふつーだねえ。こう考えてみると。よっぽどごりーのほうが普通だよ。

健人: おれもだよ。

しゃ: ののののの! きみは違う。

健人: 今までの、MSXから入ってきた、XVI 買った、AT 買った…。

しゃ: そこまではふつー。

主将: ふつーの人はそこまでいっても、その次のステップとして、博士になんないよ。

にら: それはこれからくるんだよ。んじゃとりあえずごりーの話はここで停止という形にしておいて。

しゃ: 後日興味のある方はメールでリクエストくれれば追補版出しますよ、ということで。SX 追補版みたいでなんかヤダけど。

にら: やっぱゲイツにちなんで update 版でしょ。

Kain: サービスパック…

(笑)

■あんな店とか壊れ系な話

しゃ: 今ロボがないんでなんだけど、いんたびうの最後に突入します。きみナニ聞かれるかわかってるよね。

健人: いやちっともわかんない(汗;)なんのことかなあ?

(笑)

しゃ: ごりーはさあ、最後の最後ってゆーのは、今まで通り平坦に流れてきただけだから特になんないけど、けんとは違うもん。町田からわざわざ渋谷まで通って…

(笑)

にら: ま、会社の帰りだからね。

しゃ: でも会社の帰りってあそこ関係ないやん。

健人: 中央林間からだと、渋谷~新宿~町田って帰れるんですよ。

ぱや: でも教習所の帰りも町田~渋谷~町田ですよ。

主将: それがリーマン空間というもので。

しゃ: ずばり聞きますけど、なぜ渋谷?

(笑)

しゃ: 聞いてる人わかんないかもしれないので。これ、アンナミラーズにたむらけんとが通ってるって話なんで。

健人: いや、通ってないよ。

しゃ: ええ??

にら: んじゃ質問。今年に入って何回いきました? 一月一日から。

主将: 1ヶ月に100回でしょ。

しゃ: 一週間に十日こい、じゃないんだから(笑)

健人: ん~50くらいいってるかね。

しゃ: 公称50。

にら: 50/180…

(これ以降は本人の名誉(?)のために自主検閲)

キーワードは「かわいい声してますね」というのだけは特筆

しゃ: まとめとして、けんとの使用前使用後。

さの: (買い物から帰ってきて)

ばや：ヨドバシまでいったのか

さの：ちょっと一歩手前の…寸止めね。

健人：先っぽだけ？

(爆笑)

ばや：これが使用後です(笑)

しゃ：じゃ、けんとはに関しては以上!!(汗;) ごりーに関しては…ごりーの昔を知ってる人間から聞きたいね。なんか一言あれば。

Kain：そうだなあ。やっぱり…web 日記はじめてからけっこう変わったってのがある。変わったっていうかそれまでそういうとこが見えてなかったというのが。

しゃ：新たな一面を発見した…

主将：真の姿…

いら：それは今のところとりあえずかインと同じかなあ。

ごり：ほら、周りから吸い込んでさらに自分のものにしてる部分もあるからね。書くメディアである前に読むメディアであるわけじゃない？そゆ周りの人の影響を取りこんで自分のものにしてるところがあるから…

いら：いえることは、ある意味変わってないよ。

しゃ：なんかごりーは質実剛健ってのがずーっと続いているんだね。すべてのことに関して。

Kain：昔から変わってない。

いら：ある意味オレISM を貫いている。

しゃ：ずーっと昔から筋が1本通ってるっちゅーのはある。ただ壊れるのも…

主将：壊れるのは一瞬だった

(笑)

しゃ：まず真ん中に筋が1本あって、右に振れるにも左に振れるにもおんなじように振れてて、自分自身がそれに対して信念持ってるからあんましこう、人がなんだかんだいって面白いってタイプではないね。人が突っ込んで面白いタイプではない。ネタにしづらいタイプ(汗;)。

いら：でも逆に信念持ってるから、信念持ってるんだけど、こっちからある意味本質的なことという、結構しぶとく口ごたえする。

しゃ：そそ、するよね。

いら：エロゲーギャルゲー論争にしても。

主将：ネタを提供するよりはネタに突っ込むタイプだね。

いら：そか、やっぱごりー攻めなのか！

(笑)

しゃ：そうだねえ、振り返ってみるとそうかもしれないねえ。うちらとしてはネタ的にごりーが受けだったら面白いかなあ？というのがあったんだけど、性格的にごりー攻めだったねえ。

健人：おれ、地味だからねえ

しーん(苦笑)

しゃ：地味でシャイ。

健人：うん。

しゃ：では今回は遅くまでありがとうございました。あとは適当にまとめますんで。文句はいわないように(笑)

一同：適当に…(笑)

いら：適当にまとめられてヤバイと思ったらディスクが回ってるうちにはいておいてください。ごりーも。

ごり：おれに関しては問題ない。

健人：リスクたけ⁵⁰なおれ…

⁵⁰ ちゃんと削っておきました。もったいなかったけど…。

■編集後記

いやー今回もいろいろ疲れました。テープ起こしの人間が土壇場で減ったりポケピや Guitar Freaks、Soul Calibur などのゲームに襲われたり。冬から夏の間は長いと思ってたけど、やっぱり遊んでるとあっという間に過ぎていきますね。

最後に。

テープ起こし担当の・表紙デザインのにらたまん、
写真撮影隊の主将、にらたまん、
いんたびうのときに鋭いツッコミを入れてくれたみんな、
快く何もかも(?)さらけ出してくれたけんと、ごりー、
ありがとう!

1999/08/12 しゃある <sharl@hauN.org>

1999/08/13 初版発行
2000/08/12 第2版発行
2003/10/09 PDF 版発行

連絡先

<http://systemZ.hauN.org/>